

# 一般病棟におけるデスカンファレンスの取り組み ～終末期ケアの質の向上を目指して～

○伊藤桃子 青沼友紀  
大崎市民病院岩出山分院 看護部

designed by Eighthesix - Freepik.com

## 目的

デスカンファレンスを導入することでA病院一般病棟で亡くなられた癌患者の終末期ケアの振り返りを行い、今後の終末期ケアの質の向上につなげる。

## 結論

1. A病院一般病棟におけるデスカンファレンスは、終末期ケアの振り返りの場となり、終末期ケアの質の向上につながると思われる。
2. 今後デスカンファレンスの環境調整、入院時からのカンファレンスの継続が必要である。

## はじめに

終末期を病院で過ごす患者が増加傾向にあり、A病院一般病棟では、約3割が終末期を迎える癌患者の入院である。緩和ケアを目的とした患者に対し、終末期に起こりうる全身状態の変化について分かりやすく伝えられるよう作成した看取りのパンフレットを活用し、家族とコミュニケーションを図りながら、大切な人の死を受け入れられるようにサポートを行っている。しかし、終末期の患者の死後、患者や患者家族へ提供したケアの評価や、看護師の感情を表出する場がなく、次の終末期ケアに生かしていない現状がある。

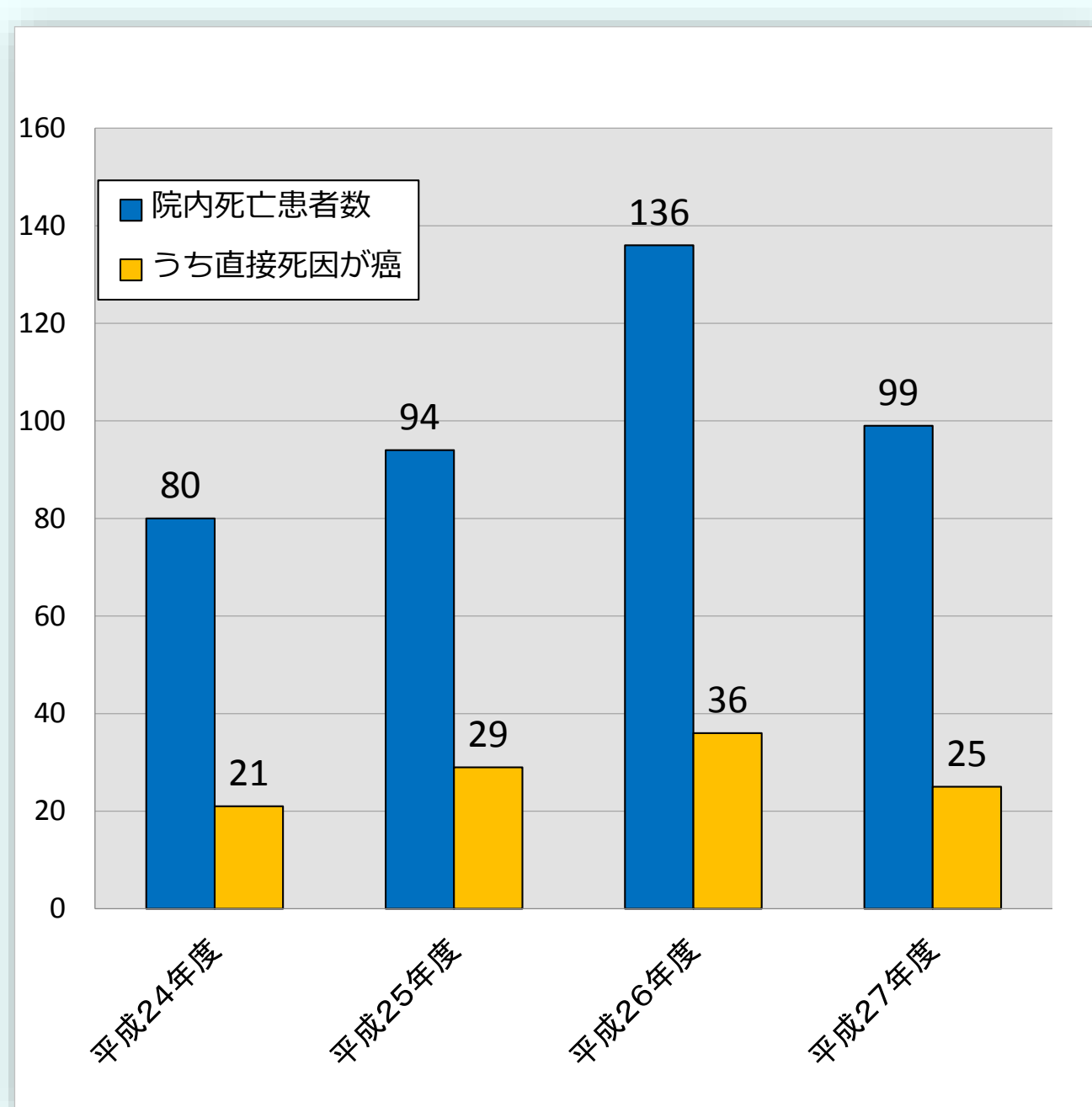


図-1) 院内死亡患者数

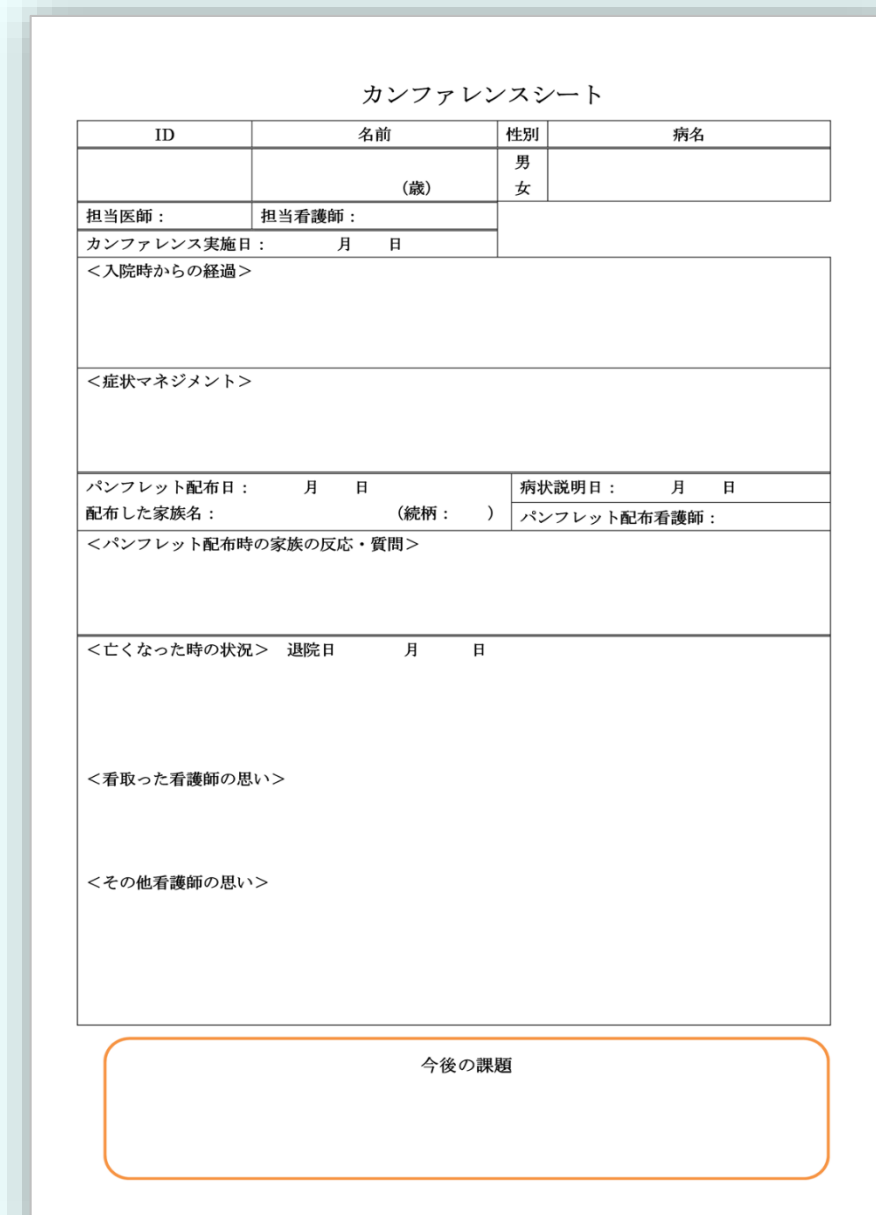
A病院一般病棟で使用した看取りのパンフレット



## 研究方法

1. 研究期間 : 平成28年3月～平成28年5月
2. 対象 : A病院一般病棟看護師20名
3. 研究方法・分析
  - 1) 1回目から5回目までのデスカンファレンスの書記録ノートに記載された看護師の発言内容を類似性に基づいてカテゴリー化した。
  - 2) 質問紙調査による看護師の意識調査を単純集計した。
4. 倫理的配慮 : 対象者に研究の目的と意義を書面にて説明。質問紙調査は個人が特定されないよう匿名化することで承諾を得た。

A病院一般病棟で使用したデスカンファレンスシート



## 考察

### A病院一般病棟のデスカンファレンス導入の効果

終末期ケアの振り返りの場

看護師の感情表出の場

よりよい看護の提案

A病院一般病棟ではデスカンファレンスを行うことで、

- ・患者、家族への思いを振り返ることで、次の終末期ケアにつなげることができた。
- ・看護師の感情表出の場となり、スタッフ間での気持ちを共有することができた。

### 導き出された今後の課題

デスカンファレンスに精神的負担を感じているスタッフもいる

入院時からのカンファレンスは必須

話しやすい場の雰囲気作りとカンファレンスに集中できる環境の調整が必要

今後もデスカンファレンスを継続するには、入院時からのカンファレンスとデスカンファレンスの継続が必要

## 結果

### 結果-1 カテゴリー分類

表-1) 終末期ケアの振り返り

サブカテゴリー	コード
患者の苦痛緩和の評価	・苦痛評価の困難 ・ボディケアによる苦痛軽減 ・患者の発言から心情の憶測 ・患者の性格把握
家族ケア	・心の準備のサポート ・家族が患者へしてあげたことへのサポート ・感謝の言葉 ・看護師と家族の関係性 ・回復への期待の対応 ・患者との時間の確保

表-2) 看護師の思いの振り返り

サブカテゴリー	コード
家族への思い	・病状理解の不足 ・家族の疲労へのねぎらい ・麻薬に対するイメージ ・死の受容段階の分析
心残り	・病状の説明不足 ・家族連絡のタイミングの難しさ ・症状コントロール ・外泊外出の進め方
葛藤	・身体拘束の必要性 ・看取りに対する苦手意識 ・血圧時間測定の必要性 ・他の業務との時間調整

表-3) 看護の提案

サブカテゴリー	コード
医療者側の連携	・カンファレンスの必要性 ・主治医やコメディカルとの情報の共有 ・看護師間での情報共有
家族との連携	・看取りのパンフレット利用の継続 ・家族へ情報提供

### 結果-2 質問紙調査結果

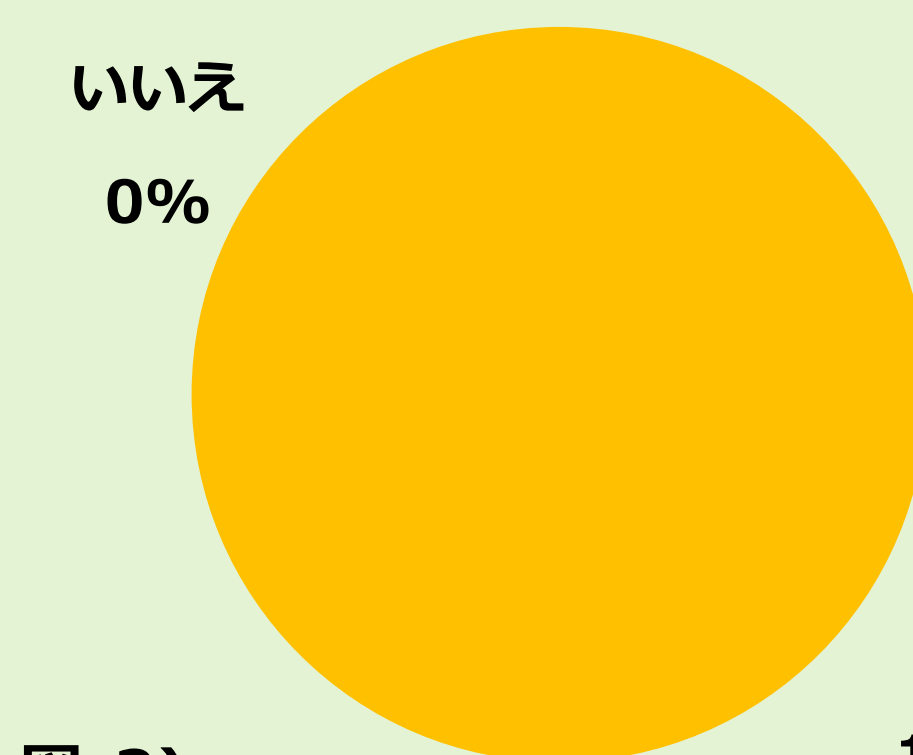


図-2) 自分自身の学びの場になったか

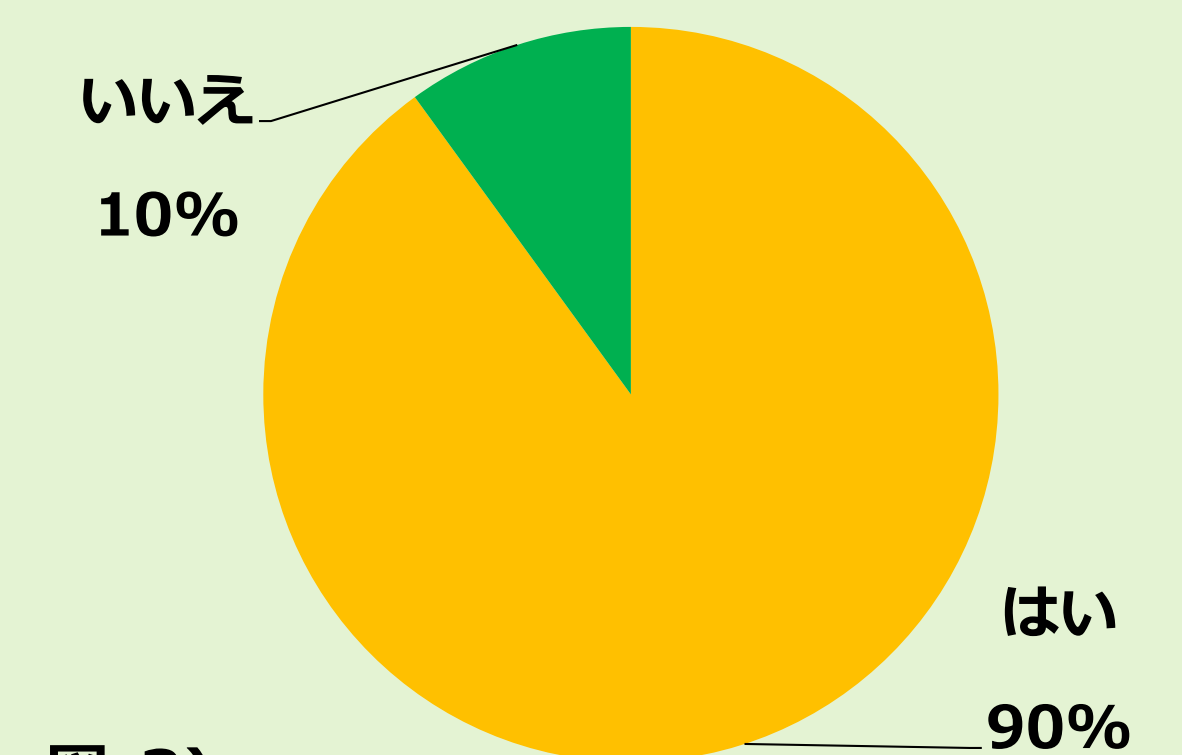


図-3) 自分自身の気持ちの表出ができたか

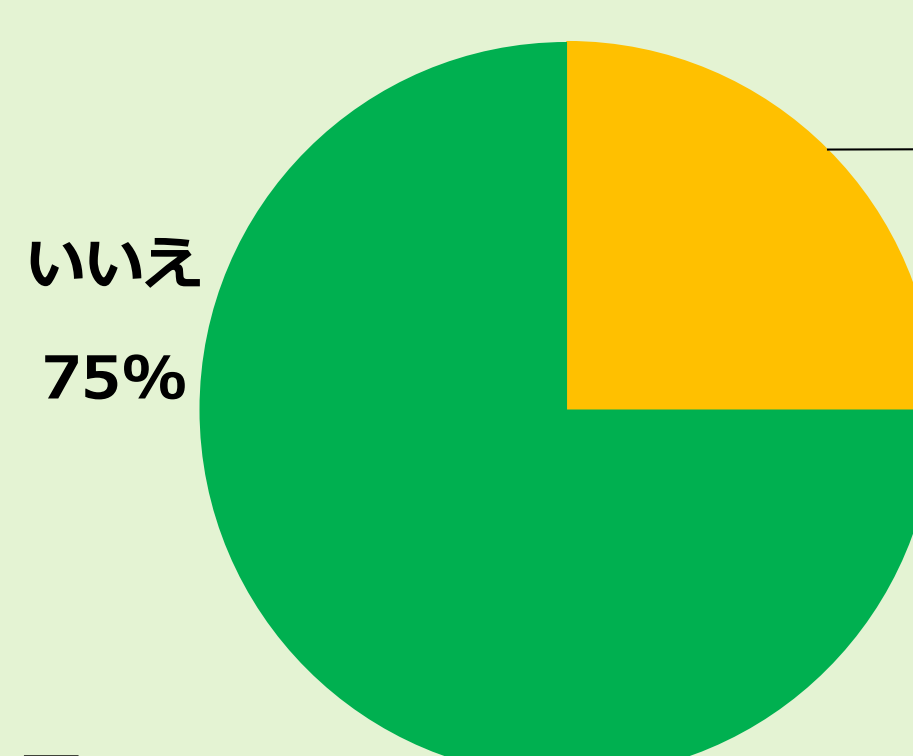


図-4) 精神的負担はあったか

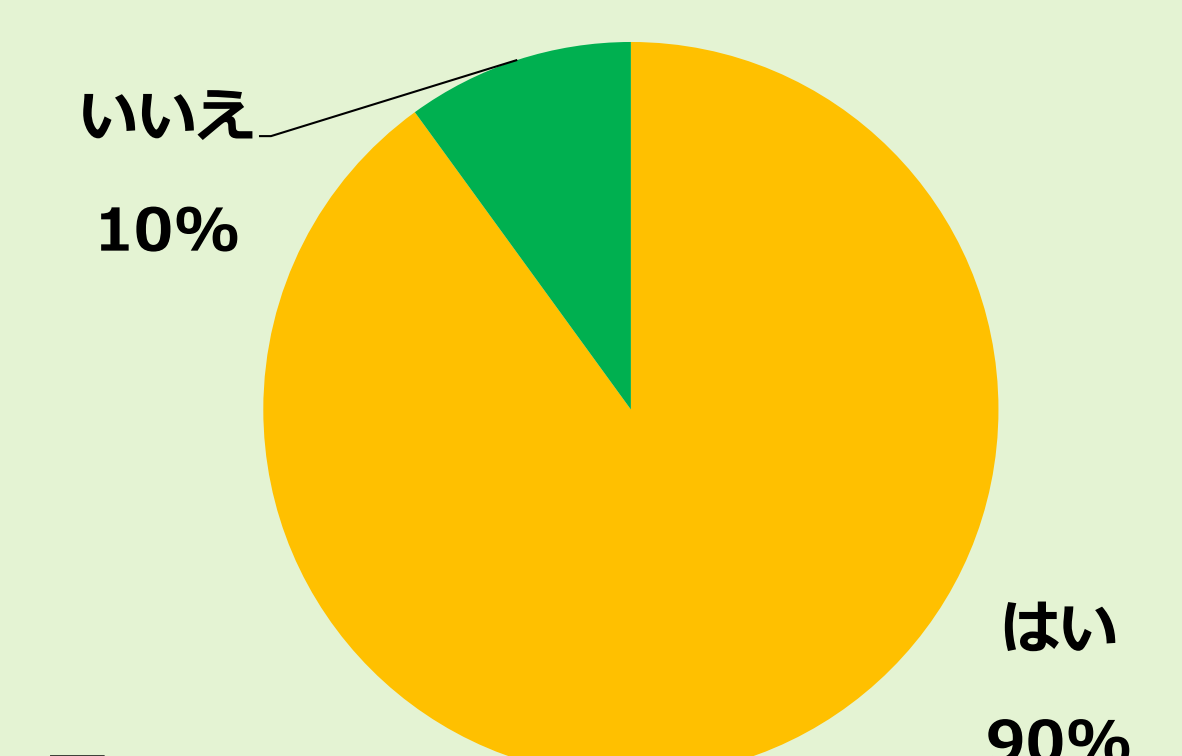


図-5) 継続する必要があると思うか

### 自由記載

- ・入院時からのカンファレンスの必要性、重要性を感じた (7名)
- ・業務内での時間調整が必要 (5名)
- ・死に対する他のスタッフの意見を知ることができた (3名)
- ・話し合いの回数を重ねるほど内容が充実された (2名)
- ・グリーフケアの勉強会が必要 (1名)
- ・開催頻度は妥当 (1名)

### <参考文献>

- 1) 和田淳史: 終末期ケアチームアプローチ (1版) 日経出版2015
- 2) 濱口恵子、小宮富美恵、千崎美登子、高橋美実子、大谷木瑠子: がん患者の看取りのケア改訂版 日本看護協会出版会
- 3) 宮下光希: 明日の看護に生かすデスカンファレンス 看護技術2010-12 64-70
- 4) 長谷部美江子、野口雅恵、柘植美幸: 看護師の発言内容の変化からみたデスカンファレンスの効果 日本看護学会論文集 第42回218-221
- 5) 生田磨美、木村多恵子、佐々木節子、坪倉隆美、徳岡晴子、山形隆美、長尾加奈子、前田恵利: 今後のデスカンファレンスの課題 1年間の実態調査と看護師の意識調査の分析から 日本看護学会論文集 看護総合 第43回159-162
- 6) 山田照子、川合由河、山口健、森純子、山口真理子: 一般病棟でのデスカンファレンスの実態と今後の課題 終末期看護に関わるスタッフの意識調査から 日本看護学会論文集 看護総合 第43回155-185